令和５年度決算

次世代へつながる多くの事業がスタート

記念すべき市制施行80周年を迎えた令和5年度は、第7次舞鶴市総合計画後期実行計画の初年度として、3つのまちづくり戦略を中心にさまざまな施策を実行しました。

特に次世代への積極的な投資として「子ども医療費助成の拡充」「小学校の大規模改修」「おむつ処分費用の支援」など、未来へつながる事業を実施しました。

また、甚大な被害をもたらした台風7号の被災地への迅速な復旧支援や、長期化する物価高騰で大きな影響を受けた市民や事業者への支援などをきめ細やかに行いました。

6億5,274万円の黒字に

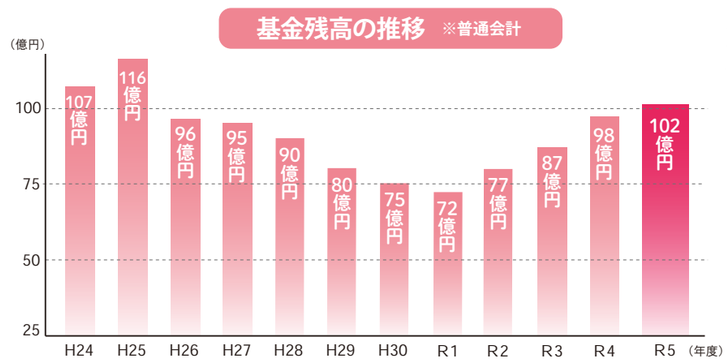
台風災害など例年にはない緊急的な支出がありましたが、人口減少や社会経済状況の変化、災害などの不測の事態に対応するための財政調整積立金（貯金）を取り崩すことなく、一般会計の実質収支額は、6億5,274万円の黒字額を確保する財政運営ができました。

この実質収支額は、次年度に繰り越し、基金への積み立てや舞鶴市が進める「未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴」の実現に向けた財源として活用していきます。

詳しい内容は市ホームページでも公開しています。下コードからアクセス可。《財政課》

舞鶴市の基金（貯金）の現在

財政調整積立金をはじめ、公共施設の整備や地域開発事業の促進などに備えたさまざまな基金を積み立てています。これら基金の確保により、舞鶴市の財政運営を安定させ、今後、計画的に施設整備や市政の推進、突発的な支出にも対応していくことができます。



6億5,274万円の黒字決算に！

一般会計歳入

総額 396億7,776万円

- 市税 115億8,900万円（入湯税含む）
  - 市民税 45億3,257万円
  - 固定資産税 61億2,509万円
  - 軽自動車税 3億1,181万円
  - 市たばこ税 6億1,435万円
- 地方消費税交付金 18億9,657万円 — 社会保障施策の財源として交付されるもの
- 地方交付税 78億8,590万円 — 財政力にあわせた国からの交付金
- 国庫支出金 82億9,018万円 — 国からの補助金など
- 府支出金 29億9,767万円 — 府からの補助金など
- 繰入金 2億6,671万円 — 基金の取り崩しによる繰り入れ金
- 市債 23億7,471万円 — 公共施設建設などのために行う借り入れ
- その他 43億7,702万円 — 各種使用料や手数料など

一般会計歳出

総額 385億9,213万円

- 議会費 3億527万円 — 議会の運営など
- 総務費 55億5,413万円 — 市役所の運営やまちづくりの推進など
- 民生費 136億6,099万円 — 子育てや福祉、生活保護など
- 衛生費 39億8,589万円 — 予防接種やごみの収集など
- 労働費 6,798万円 — 就職や転職の支援など
- 農林水産業費 8億4,519万円 — 農業や林業、漁業振興など
- 商工費 9億3,151万円 — 観光や商工業振興など
- 土木費 37億3,577万円 — 道路や河川、公園の維持整備など
- 消防費 15億8,655万円 — 消防・救急活動や防災対策など
- 教育費 38億8,706万円 — 学校・社会教育、スポーツ振興など
- 公債費 37億2,048万円 — 市債（借金）の返済
- 災害復旧費 3億1,131万円 — 災害で損傷した道路や農地、漁業施設の復旧

特別会計・企業会計

特別会計とは… 特定の事業を行う場合に、使用料などの収益でその事業の経費を賄うため、一般会計とは区別して収入・支出を処理するための会計です。

	会計名	収入	支出	基金残高
特別会計	国民健康保険	73億3,002万円	72億7,686万円	7億5,291万円
	介護保険	87億5,595万円	84億5,393万円	6億2,800万円
	後期高齢者医療	14億8,496万円	14億8,004万円	－
	貯木	98万円	98万円	8,329万円
	駐車場	3,669万円	3,338万円	2,925万円

	会計名	収入	支出	当年度純利益
企業会計	水道事業（※）	18億4,676万円	16億1,113万円	2億3,563万円
	下水道事業（※）	33億6,576万円	30億8,338万円	2億8,238万円
	病院事業	9億4,831万円	9億8,800万円	△3,969万円

※詳しくは、21ページで確認できます